

乳児を科学的に観る： 発達保育実践政策学の展開

本企画は日本学術会議第22期マスタープランに教育学分野の「学術の展望」に基づき提出した大型重点研究計画「乳児発達保育実践政策学研究教育推進拠点の形成」に基づく提案である。「子どもの睡眠」と「養育者のワーク・ライフ・バランス」というテーマから、子どもの発達と保育・養育環境、更にはそれらを取り巻く社会・文化的状況について検討した上で、よりよい保育の在り方とその実現のための政策について議論を深めたい。

平成28年11月6日(日)13時(開場12:30)～17時半 日本学術会議講堂

企画趣旨説明(13:00～)：遠藤 利彦(日本学術会議連携会員・東京大学大学院教育学研究科教授)

第1部

13:10～14:45

眠りのメカニズムを探る —乳幼児発達の基礎として—

- 司会：渡辺 はま(東京大学大学院教育学研究科特任准教授)
- 話題提供：
 - 「睡眠の科学」
櫻井 武(筑波大学医学医療系/
国際統合睡眠医科学研究機構教授)
 - 「ヒトの初期発達における睡眠」
多賀 巖太郎(東京大学大学院教育学研究科教授)
- 討論：「眠る、食べる、動くをめぐる」
櫻井 武(前掲)
多賀 巖太郎(前掲)
保前 文高(首都大学東京大学院人文科学研究科准教授)

第2部

15:00～16:35

養育者のワーク・ライフ・バランス

- 司会：野澤 祥子(東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター准教授)
- 話題提供：
 - 「親のワーク・ライフ・バランスと健康」
島津 明人(東京大学大学院医学系研究科准教授)
 - 「保育者の感情労働とワーク・ライフ・バランス
—他者のワーク・ライフ・バランスを支える保育者たち」
高橋 真由美(藤女子大学人間生活学部准教授)
 - 「保育現場の労働環境と保育者の負担感」
高橋 翠(東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター特任助教)
- 指定討論：遠藤 利彦(前掲)

第3部

全体討論(16:45～17:20)

- 司会：淀川 裕美(東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター特任講師)
- パネリスト：秋田 喜代美(日本学術会議連携会員・東京大学大学院教育学研究科教授)
多賀 巖太郎(前掲)
村上 祐介(東京大学大学院教育学研究科准教授)

閉会挨拶(17:20～17:30) 大桃 敏行(日本学術会議連携会員・東京大学大学院教育学研究科教授)

※総合司会：野澤 祥子(前掲)・関 智弘(東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター特任助教)

《共催》  東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター(Cedep) 《後援》 日本発達心理学会 教育関連学会連絡協議会
(申請中・順不同) 日本赤ちゃん学会 日本子ども学会

➤ お申し込み・お問い合わせ：発達保育実践政策学センター(Cedep)
申込専用ウェブフォームをご利用ください。
<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/>



先着
280名
事前申込制

➤ アクセス：日本学術会議 〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車、5番出口(青山霊園方面)より徒歩1分